

AreYou Happy? くわみず看護☆きらい☆笑顔(´0´) ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業に取り組んでいます。



看護職の
ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス (WLB) とは…

職員個々のバランスで仕事と生活の両立を無理なく実現できる状態のことをいいます。仕事と生活を調和させることで、両者間に好ましい相乗効果を高めようという考え方とその取り組みをさし、2010年度より看護協会で行われている事業です。

近年、目まぐるしく変化する社会や医療情勢において、診療報酬改定に伴う病床機能の変化や平均在院日数〔平均入院期間〕の短縮化、高齢化や認知症への対応など医療の現場は高度化・複雑化して日々の業務に追われ疲弊している現状があります。

「もっとゆっくりと患者さんのそばで看護を提供していきたい!!」

看護師は誰もがそう思いながらも忙しい日々を追われ、看護のやりがいや達成感を感じられず疲弊感を感じる場面も決して少なくありません。

「患者さんに安心感を与えられるようにどんな時でも笑顔で接したい」

その「笑顔」を大切にするためには、現場で働く看護師や職員が元気でなければなりません。職員ひとり一人が働きやすい職場づくりに向けて考え、患者さんとのかかわりを通して、看護のやりがいを持つ組織づくりへと発展できるよう、今年度からワーク・ライフ・バランス推進事業に取り組んでいます。(熊本県で、11の医療機関が取り組んでいます)まずは、職員ひとり一人の声をひろい上げて、医療や看護の現場の状況を把握し抱える問題を分析、課題を導き出すことから始めます。

「もっと休みが欲しい」「業務が煩雑で看護のケアに十分時間が取れない」「残業をなくしたい」「人をもっと増やしてほしい」など、多くの声を師長さんや主任さんが中心となって、一人一人の意見を大切にしながら、現場の問題に一生懸命に向き合っています。これらの意見をもとに、課題を整理し「働きやすい職場づくりのために私たちが取り組めることは何か」をみんなで考え計画を立て取り組んでいきます。

今年度の具体的な取り組みをいくつか紹介します。

1. 時間外(残業)を減らすためのノー残業デーの推進と「帰るバッジ」作成
どんなに忙しくても今日は用事があるので5時に帰らせてね・と周囲に知らせます
2. 職員が平等にリフレッシュできる休日を確保するための「休暇カレンダーの作成」
3. 目指す看護を日々共有できるように「看護標語カレンダー作成」
4. 頑張ってる自分、こだわっている看護について、一人一人の「看護ストーリー」作成



一人一人のいのちに寄り添い、どんな困難にもあきらめなくくわみず看護の輝きを大切に、患者さん、家族、職員の『笑顔』が輝く組織づくりに向けて取り組んでいきます。



「帰るバッジ」

今日は子供との約束があるから 5 時に帰らせてね..

くわみず看護きらい★笑顔

ワーク・ライフ・バランスニュース

No.1

Are You Happy?

*以下WLBと略します

WLB推進委員会



文字が多くて
すみません…

看護職の ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス（WLB）とは、
個人それぞれのバランスで、仕事と生活の両立を
無理なく実現できる状態のことです。

仕事と生活を調和させることで、
両者間に好ましい
相乗効果を高めようという考え方と
その取り組みをさします。

看護協会の働きかけで、今年度より3年かけて取り組みます。

インデックス調査（職員の意識調査、数字はうそをつかない…。）を行った結果、質問13「あなたの部署では看護ケアに費やす時間を十分に取ることができている」に対し「そう思う」2.5%、「ややそう思う」25.6%とかなり低く、73%以上が「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えていることに着目しました。そこで「どうして十分看護ケアができないのか」「どうしたら看護ケアに十分時間を費やすことができた」と感じられるのか、現場スタッフの声を集め、まずは今年度取り組む内容と年間計画を立てていきます。

具体的な取り組み(案)

分析

強み

- ・ 離職率は4.7%と低い
- ・ 有休取得率は40%を超えている
- ・ 平均年齢38.3歳と中堅、ベテランが多い
- ・ 教えよう、育てようという風土、環境がある

弱み

- ・ 高齢者、認知症患者が増え、対応に追われている
- ・ 看護ケアに十分な時間がとれない
- ・ 子育て中の年齢層が多く、独身者へ負担がかかる
- ・ 夜勤や研修に関連しない休みが少ない

**看護師みんなの意見を出し合って、より良い
環境で仕事ができる様（他職種も）

みんなで取り組み変わっていきましょう！！

1. ニュースを発行する⇒職員への周知のため
2. 会議の種類・内容・頻度の見直し
⇒ 看護ケアの時間を確保するため
3. 一人一事例まとめる⇒受け持ち患者へしっかり主体的に関わることでやりがいを感じることができる
4. 認知症について学習する⇒対応を身につけることで効果的に患者に関わり、患者・看護師にとってストレスの軽減を目指す
5. **看護標語を作る** ⇒目指す看護を共有するため
6. 「**帰るバッチ**」を作り、早く帰ることができる日を作る ⇒時間外対策・看護師の満足度向上のため
7. 年間長期休暇カレンダーを作る⇒リフレッシュ
8. ホームページに取り組みをのせる⇒人材確保などなど



幸せの連鎖は、看護職のWLB実現から始まります。

Are You Happy?

No.2

*以下WLBと略します

ワーク・ライフ・バランス(WLB)とは、
個人それぞれのバランスで、仕事と生活の両立を無理なく実現できる状態
のことです。

仕事と生活を調和させることで、両者間に好ましい相乗効果を高めよう
という考え方とその取り組みをさします。



看護職の

ワーク・ライフ・バランス

ぜひ欲しい!という部署の
方はいませんか?一緒に活
用しましょう!



●「**帰るバッヂ**」を作りました!!
早く帰ることができる日を作る



幸せの連鎖は、看護職のWLB実現から始まります。

● **看護標語を作っています!!** 31日分

(例)

- 1日 整理整頓きれいな職場で働く幸せ
- 2日 次の休みを楽しみに、今日も1日頑張りま
す
- 3日 「頑張ってね!」その一言で頑張れます
- 4日 全員で協力時間内の仕事で頑張りましょ
- 5日 忙しい時こそ焦らず深呼吸
- 6日 届けよう看護の基本思いやり
- 7日 見守る目・支える手・寄り添う心
- 8日 目を合わせ・心を合わせて

思いやりの言葉を交わそう

・などなど

◎ 昨年12/10に熊本県看護協会で中間報告会がありました。

今度は1/22にワークショップが開催されます。 他職種の参加をお願いします!!